

健康経営の進め方

Step.1 [健康経営宣言]

How To

- 加入している保険者(協会けんぽや健康保険組合等)が実施している健康経営事業に参加する
- 保険者が健康経営事業を実施していなければ自社独自の健康経営を実施する
- 健康経営の文章は、事業所の入口や会議室等に掲示する又はホームページに掲載する
- まずは経営者自身が健診を受診する

Point

- 事業計画などに従業員の健康確保を明記しましょう。
- 従業員の健康が経営資源の根幹であることを経営者が認識しましょう。



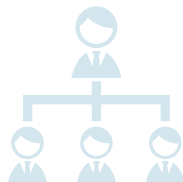
Step.2 [組織体制づくり]

How To

- 社内での健康づくり担当者を決める
- 健康づくりに関する外部人材の活用も検討する

Point

- 全ての事業所において健康づくりの担当者を定めましょう。
- 衛生管理者、安全衛生推進者、協会けんぽの健康保険委員等を担当者に任命すると良いでしょう。
- 専門家(産業医・保健師等)を活用しましょう。
- 従業員が意見を出し合え、楽しみながら取り組める明るい体制づくりをめざしましょう。
- スムーズな運用のために、経営層を担当者の一人に加えましょう。
- トップダウンだけではなく、ボトムアップの視点も意識しましょう。



Step.3 [健康経営課題の把握]

How To

- 定期健康診断の受診率を確認する
- 健診結果等により、健康状態の見える化を図る
- 従業員の心の健康状態を把握する(ストレスチェック)
- 時間外労働や有休の取得状況を確認する
- 職場巡視を行い、職場環境を確認する

Point

- 健診機関、健康保険組合等に健診結果や問診データをもらい、経年変化を見ましょう。
- 独自に生活習慣等のアンケートを実施し、現状を把握しましょう。
- 健診後の二次検査の受診率を確認しましょう。
- 職場環境について、安全衛生委員会などを活用し、従業員の意見を集めましょう。
- 専門家(産業医・保健師等)の意見を聞いてみましょう。
- ストレスチェックの集団分析を行いましょう。
- 退職者数や離職者数を把握しましょう。
- 特定保健指導の実施率を確認しましょう。



Step.4 [優先的に取り組む課題を決めて計画を立案]

How To

- Step.3で把握した自社の課題から優先的に取り組む課題を決める
- 課題の解決方法を検討し、計画を立案する

Point

- 他社の取り組み事例を参考にしましょう。
- できるところからまず始めましょう。
- 自社の特徴や長所を活かしましょう。
- レクリエーションなど楽しめるものを計画に取り入れましょう。
- 数値目標を設定しましょう。



Step.5 [取り組みの評価・見直し]

How To

- 計画立案時の目標が達成できたか確認する
- 健診結果で生活習慣の改善が見られたか確認する
- 達成できていた場合、次の目標を設定するか終了する
- 達成できなかった場合、原因を考え、次につなげる

Point

- 施策実施後にアンケートなどを活用しましょう。
- 取り組みに見直しが必要な場合は、専門家(産業医・保健師等)の意見を聞いてみましょう。
- 目標が達成できた場合は、計画が円滑に実施できたポイントを確認し、他の計画に活かしましょう。



[健康経営の推進をサポートします!]

大阪府

健康経営セミナー

健康経営とは何か、健康経営のノウハウがわかる



動画で学ぶ 今こそ!健康経営

健康経営の解説や企業の取り組み事例を動画で紹介



アプリを使って、楽しく職場で健康づくり



職場における健康づくりの取り組みを表彰



協会けんぽ大阪支部

協会けんぽの「健康宣言」

健康経営をスタートできるよう、フォーマットをご用意しています! できることから取り組みをはじめましょう。



健康経営の基本! 「健診」と「保健指導」

年に1度の「生活習慣病予防健診」とその後の改善サポート「特定保健指導」は社員の健康を守るための最重要項目です。

